

広報

みぶ

2015

12

No.679

主な内容

壬生町合併60周年記念特集 2～7
壬生町特別広報官に「壬生むつみ」が任命されました！ 13

ラストスパート

懐かしの壬生町 ～広報紙でみる昭和の壬生町

町政だより 昭和34年1月号 創刊号 から 昭和63年まで



昭和29年11月3日に稲葉村と、昭和30年7月28日に南犬飼村と合併し、現在の壬生町になりました。今年はそれから60周年の節目となります。

今年最後となる12月号では、合併60周年を記念し、当時の広報紙に載った写真と共に昭和の壬生町を振り返ってきたいと思います。

町章きまる

全国から応募四二九件

手前町三本木より、
 一等金九百圓
 二等銀五百圓
 三等銀三百圓
 四等銀二百圓

五月廿一日の東京選定委員会
 次氏



昭和35年7月壬生町章きまる



昭和34年1月号 壬生町消防団通常点検

昭和34年1月号が
創刊号だよ！
広報紙で昭和の壬生
町をご紹介します。



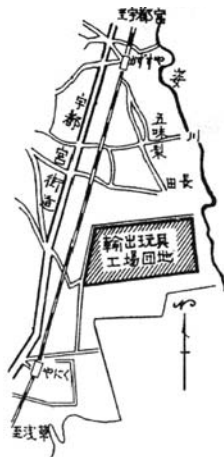
輸出玩具団地に政府の認可

敷地面積二十八万六千坪
(95町3反歩)

壬生町の工業開発規模(約二百九十七万平方米、九十万坪)の一翼を
 になう輸出玩具工業団地は通産大臣より工業用地の認定、昭和三十
 七年十月十日)も下り、又、国や栃木県の助成措置も決定、昭和三十
 一年(昭和三十八年)六月二十五日団地内用地造成も本格的な工仕上げ
 の段階になった。農林省は厚狭市へ提出中で下り、その
 許可のあり次第、整地を同時に工場建設を開始される予定である。

近代的な集団工場

設備投下資金32億円



▽オモチヤ団地

玩具団地（理事長富山
栄次郎）では、昨年二月
から約八億円をかけて、

十一社が操業開始

おもち^やのまち 駅も開通

ぞくぞく生産に入った玩具工場



昭和40年4月 おもちゃのまち駅



皇太子殿下おもちゃ団地をご視察

昭和42年11月



昭和38年7月 輸出玩具団地に政府の認可



昭和39年2月

昭和34～63年の広報紙に掲載された子供たちの写真です。

壬生町
昭和写真館



昭和37年4月号



昭和34年6月号



昭和44年6月号



昭和46年7月号



昭和47年5月号



人口三万人目の
赤ちゃんだよ

昭和49年11月号



昭和63年4月号

昭和の壬生の子供
たちの写真です！
笑顔がいっぱい！



昭和56年3月号

壬生町合併60周年記念式典



11月8日(日)、城址公園ホール（壬生中央公民館大ホール）において、壬生町合併60周年記念式典が開催されました。壬生町は、昭和29年11月に稲葉村と合併、翌30年7月に南犬飼村が加わり、現在の壬生町が誕生しました。

記念式典は、佐藤勉衆議院議員、佐藤良県議会議員、鈴木誠一栃木県副知事、真瀬宏子栃木県町村会副会長他多くの来賓を迎え、町民の皆さんなど約700人のご参加により開催されました。

式典は、壬生寺保育園の園児による円仁太鼓の演奏で幕を開け、松山美由紀町民の歌広報大使による町民の歌斉唱の後、小菅一弥町長が式辞を述べました。

続いて、市川義夫町議会議長の挨拶の後、来賓の皆様から祝辞をいただきました。

式典の中で行われた、「10年後の壬生町絵画」表彰では、最優秀賞の中村咲月さん（壬生北小6年）他10名の方が受賞されました。また、平成27年9月の関東・東北豪雨において、著しい功績のあった壬生町消防団に対し、特別表彰が行われました。

最後に鈴木理夫町議会副議長のご発声による、万歳三唱で式典は終了しました。

式典後には、平成27年度自治功労者表彰が行われ、功労賞4名、徳行賞5名、計9名の方が受賞され、受賞者を代表して、篠原富太郎氏が謝辞を述べられました。

表彰の後には、おもちゃのまち3人娘の「壬生むつみ」さんが、壬生町特別広報官として任命され、辞令の交付を受けました。「壬生むつみ」さんは、今後町のPRのため、町ホームページや広報誌等でご活躍いただく予定となっています。

また、「壬来を語ろう」と題して、壬生・ふるさと夢大使である稲葉憲之氏と富山幹太郎氏、小菅一弥壬生町長の3名による座談会が行われ、壬生町の将来像についてお話いただきました。

その後は、みぶ吹奏楽団、南犬飼中学校吹奏楽部による演奏が行われ、最後に壬生中学校・南犬飼中学校吹奏楽部、壬生少年少女合唱団、松山美由紀町民の歌広報大使、ご来場の皆さん全員による町民の歌大合唱で幕を閉じました。



MIBU TOWN
60th
ANNIVERSARY

「10年後の壬生町絵画」表彰

(敬称略)

最優秀賞

中村 咲月 (壬生北小6年)

優秀賞

増渕 創大 (壬生中2年)
鈴木 美音 (南犬飼中3年)
佐藤 由埜 (壬生小4年)
寺崎 冬真 (壬生東小2年)
加藤 佑惟 (安塚小4年)

中川 寧々 (南犬飼中3年)
塩崎 萌乃 (南犬飼中1年)
高久 七海 (稲葉小4年)
佐藤 翔夢 (睦小3年)
五十嵐さくら (安塚小3年)



「花と緑がいっぱいの笑顔あふれる壬生町」

特別表彰

(敬称略)

壬生町消防団

平成27年度 自治功労者表彰

(敬称略)

功労賞

○統計調査員として功績があったと認められる方…………… 押久保 美子
○予防接種委員会委員・学校医として功績があったと認められる方… 加藤 邦重
○農業委員・統計調査員として功績があったと認められる方…………… 篠原 富太郎
○消防団員として功績があったと認められる方…………… 戸崎 代志夫

德行賞

○德行に優れ、他の模範と認められる方…………… おもちゃ団地協同組合
○德行に優れ、他の模範と認められる方…………… 協栄産業株式会社
○町に100万円相当以上の金品を寄附された方…………… 株式会社県南環境
○町に100万円相当以上の金品を寄附された方…………… 高久 尚子
○町に100万円相当以上の金品を寄附された方…………… 匿名希望



「10年後の壬生町絵画」入賞者



壬生町消防団



自治功労者表彰受賞者





平成27年度上半期



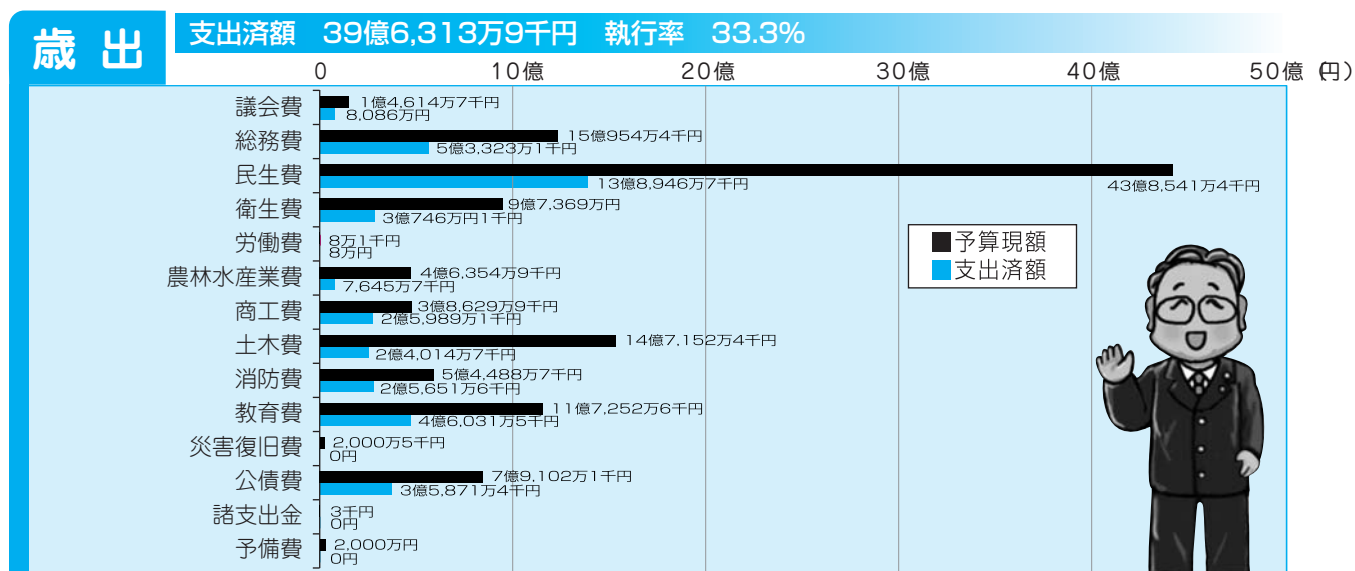
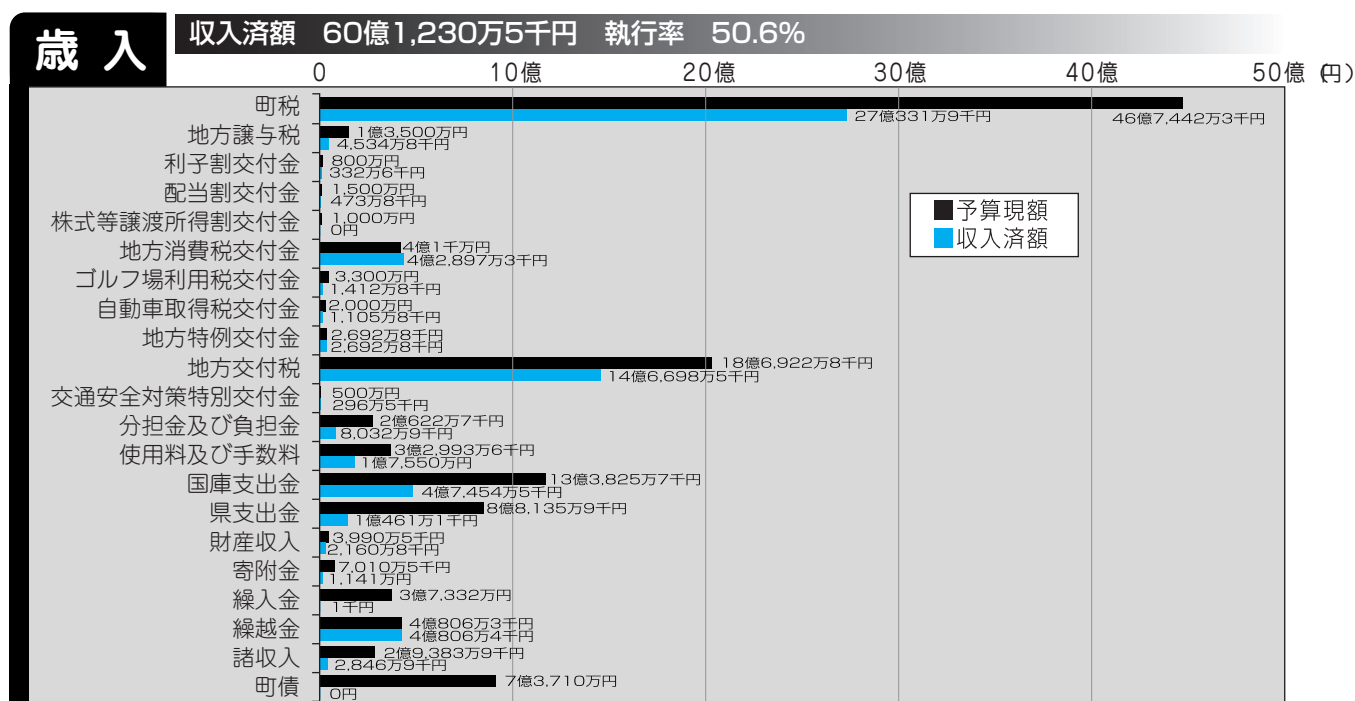
町の財政状況報告

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくため、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回（広報みぶ6月・12月号）財政状況を公表しています。今回は、平成27年度上半期（平成27年4月1日から9月30日）の収入と支出の状況等についてお知らせします。

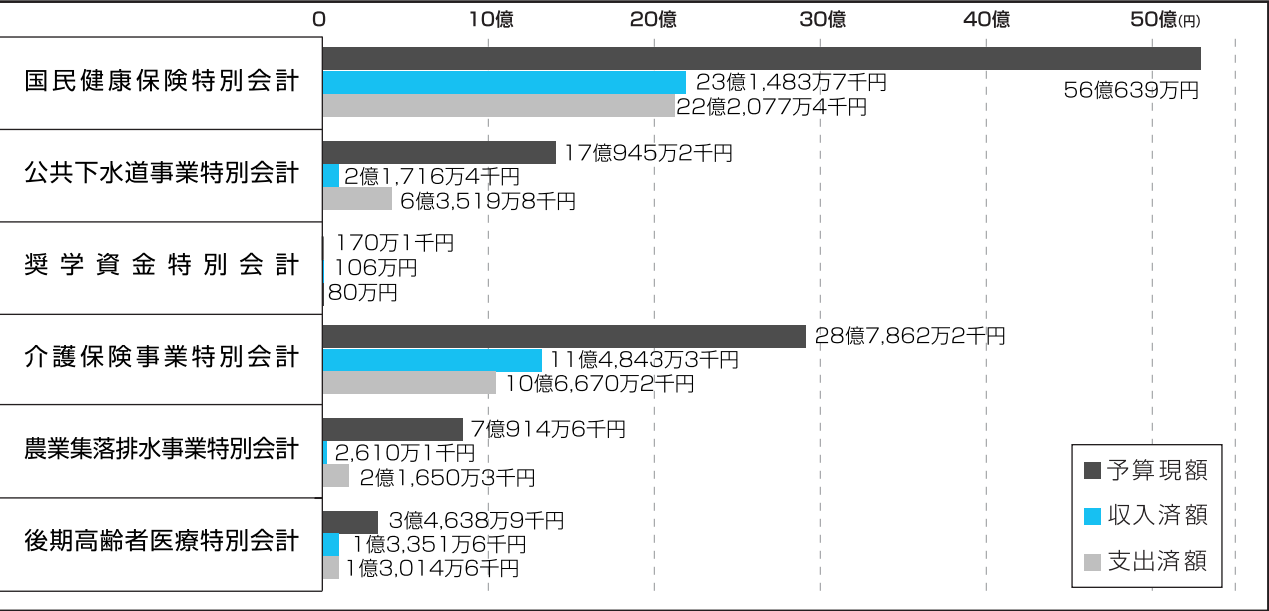
平成27年度一般会計当初予算額は114億8,000万円でしたが、その後3回の補正を行い、9月30日現在の予算額は118億8,469万円となりました。また特別会計についても、国民健康保険、公共下水道事業、後期高齢者医療でそれぞれ1回、介護保険事業、農業集落排水事業でそれぞれ2回の補正を行っています。



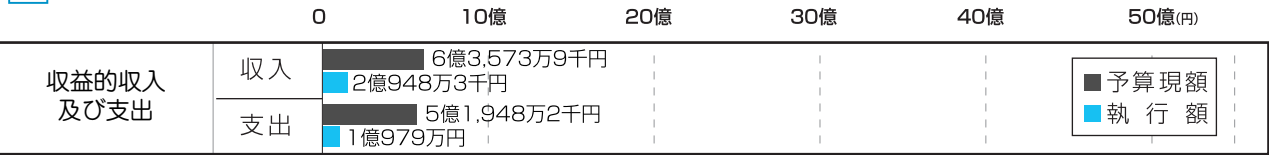
一般会計



特別会計

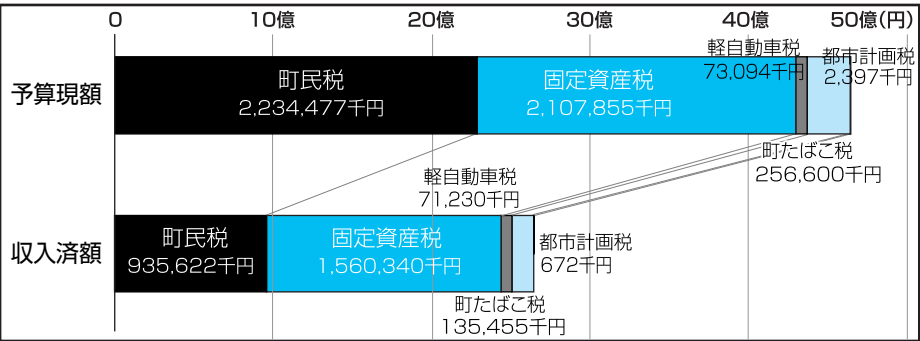


水道事業会計

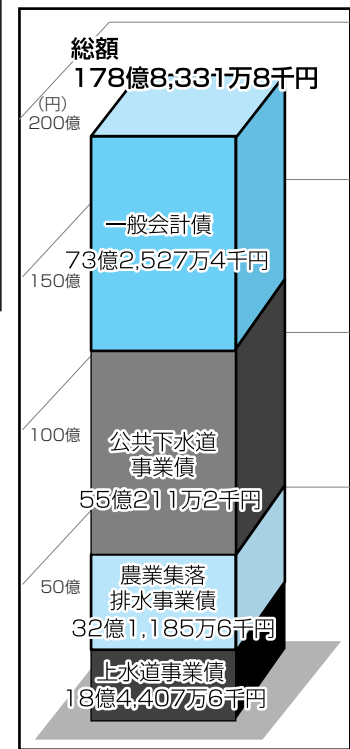


・資本的収支の収入額が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

町税の内訳



地方債現在高



税の負担状況

平成27年9月末現在 人口 39,857人 世帯 15,394世帯

	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
収入済額	935,622千円	1,560,340千円	71,230千円	135,455千円	672千円
一人当たり 67,825円	23,474円	39,148円	1,787円	3,399円	17円
一世帯当たり 175,608円	60,778円	101,360円	4,627円	8,799円	44円

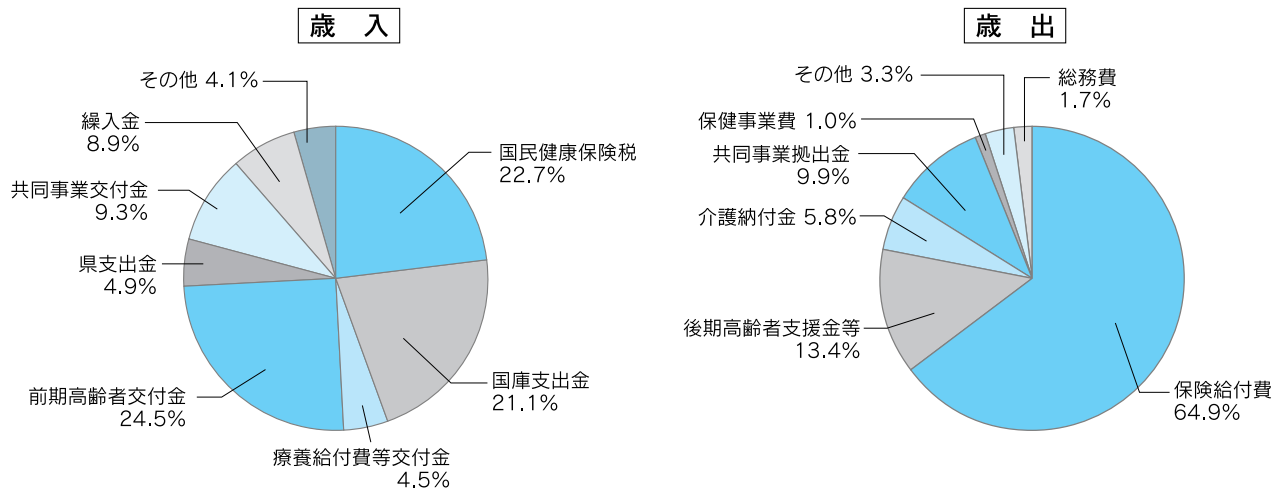
※都市計画税は平成25年度より税率0%となっているため滞納繰越金のみ



国保だより



平成26年度壬生町国民健康保険特別会計の財政状況



	平成26年度決算額	対前年度比
歳入	4,883,865千円	96.3%
歳出	4,692,853千円	96.0%
差引	191,012千円	※平成27年度に繰越

	被保険者数	対前年度比	世帯数	対前年度比
加入状況	11,634人	97.4%	6,353世帯	98.7%

	1人当たり	対前年度比	1世帯当たり	対前年度比
保険税負担額	97,714円	96.4%	178,941円	95.1%
保険給付額	338,302円	101.3%	619,518円	100.0%

※1人当たり、1世帯当たりの保険給付額は保険税負担額の3.46倍(平成25年度は3.29倍)となっています。

歳入・歳出の主な内容

歳入

- 国民健康保険税…皆様が負担する保険料
- 国庫支出金…医療費等に対する国の負担分
- 療養給付費等交付金…退職被保険者等に対する交付金
- 前期高齢者交付金…65～74歳の方の医療費に対する交付金
- 県支出金…医療費等に対する県の負担分
- 共同事業交付金…高額な医療費等に対する交付金
- 繰入金…一般会計から国保会計への繰入金

歳出

- 総務費…職員給与費・レセプト審査料等
- 保険給付費…皆様の総医療費のうち町が負担する費用等
- 後期高齢者支援金…後期高齢者医療費に対する支援金
- 介護納付金…40～64歳の被保険者の介護納付金
- 共同事業拠出金…高額医療費共同事業拠出金等
- 保健事業費…特定健診・人間ドック助成金等



☆社会保険に加入された方へ☆

国民健康保険の 喪失手続きをしてください!!

～納付の必要のない国民健康保険税を納付していませんか?～

国民健康保険に加入していた方が、職場の社会保険に加入された場合、町役場に国民健康保険の資格喪失の届出をしていただくことになっております。(自動的に国民健康保険の資格は喪失しません。) 届出をしていただくと、国民健康保険の資格のあった期間のみ国民健康保険税が計算され賦課されます。

喪失の届出をしていただかない限り、職場の社会保険と町の国民健康保険のどちらにも加入していることになり、納付する必要のない国民健康保険税が課税されることとなってしまいますので、手続きは忘れずに行ってください。



現在、職場の社会保険に加入し、職場から保険証が交付されているのに、町の国民健康保険証も交付されている方は、国民健康保険の喪失の手続きがされていませんので、下記のものを持参し、役場住民課窓口もしくは各出張所において、速やかに国民健康保険の喪失手続きをしてください。

手続きの際 ご持参いただくもの

①加入した社会保険証 ②国民健康保険証 ③印鑑
※その他届出にいらっしゃる方の運転免許証等本人確認のできる書類もお持ちください。

- ★社会保険に加入した場合や他市区町村へ転出した場合等、本来なら壬生町国民健康保険の資格がないにもかかわらず、医療機関等で壬生町国民健康保険証を使用することは絶対にしないでください。
- ★社会保険を喪失した場合にも、速やかに国民健康保険加入の手続きをしてください。社会保険喪失日から国民健康保険加入となり、国民健康保険税が賦課されます。

◎問合せ先 ●町民生部住民課国保年金係 ☎81-1836

国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額確認書等について

確定申告をされる場合、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書は、社会保険料控除の控除額を確認するための大切な資料となりますので、紛失しないようにしてください。

口座振替で納付されている方は、1月20日までに控除の証明となる口座振替済通知書を送付いたします。

領収書等を紛失された場合は、納付額確認書を発行いたしますので、運転免許証等の本人確認ができる書類をお持ちのうえ、町税務課収税係または南犬飼・稲葉各出張所までお越しください。また、年金から国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を天引き（特別徴収）されている方については、日本年金機構より送付される年金の源泉徴収票の社会保険料の欄に納付額が記載されています。源泉徴収票は、確定申告等で必要となりますので紛失しないようにしてください。

◎問合せ先 ●町総務部税務課収税係 ☎81-1816



～国保からのお知らせ～

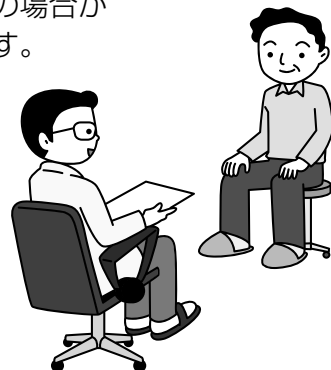
柔道整復師(整骨院・接骨院)にかかるときには次の点に注意しましょう。

◎原因を正しく伝える

柔道整復師による施術は、国民健康保険の対象となる場合と対象外の場合があります。負傷原因をきちんと伝え正しく施術を受けることが大切です。

◎病院との重複受診をしない

同一の負傷について、同時期に整形外科の治療と柔道整復師の施術を重複して受けた場合は、柔道整復師の施術は国民健康保険の対象外となります。ただし、負傷の状態の確認のために定期的に医師の検査を受ける場合や、継続して施術が必要かについて確認するために対診して施術することは可能です。



◎「療養費支給申請書」の内容をよく確認する

整骨院などで施術を受ける場合、医療機関同様に窓口で保険証を提示し、一部負担金を支払うほかに「療養費支給申請書」に署名しなければなりません。この申請書には傷病名や施術内容、回数などが記載されているので中身を確認してから署名しましょう。

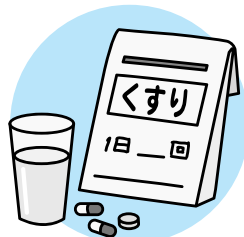
※施術内容についての確認をお願いすることがあります。

国民健康保険で柔道整復師にかかった方に、負傷の原因や施術内容等について照会をさせていただくケースがあります。これは請求内容等に誤りがないか確認をさせていただくためです。

医療保険の財政健全化のためにも、皆様のご協力をお願いいたします。

ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう

ジェネリック医薬品とは、新薬の特許期間などが過ぎた後に他のメーカーから製造販売される同じ有効成分・同じ効き目の医薬品です。開発コストが少ないため、先発医薬品よりも安価な場合が多く、保険医療費の抑制効果も期待されています。医療機関で出された処方せんをもとに薬局で受け取るお薬は、患者さん自身が医師や薬剤師と相談したうえで、先発医薬品かジェネリック医薬品かを選ぶことができます。ジェネリック医薬品を正しく理解して上手に活用しましょう。



「健康づくりのためのボディデザイン教室」

お口の健康 ～ は・ハ・歯 の はなし ～



11月14日の教室では、口腔のケアについて 実践的に学ぶ機会となりました。お二人の歯科衛生士さんから 健口体操(顔面・舌・唾液腺マッサージ)を習い、また実際に歯ブラシで日頃の自分の歯の磨き方のくせや用具についても教えていただきました。

80歳になっても自分の歯を20本以上保とう! という意味の8020運動 という言葉があります。

自分の歯で噛むことは、おいしく楽しく食事をすることができ、毎日の生活の潤いや生きがいにつながり、まさに「食べることは生きること」という食育への一環でもあります。

皆さん、お口の健康をしっかりと管理していきましょう(^o^)/

壬生町特別広報官に 「壬生むつみ」が任命されました！



壬生町特別広報官に 「壬生むつみ」が 任命されました！

おもちゃ・模型が大好きで、夢のあるおもちゃを考えるのが大好き妹の「ゆうゆ」とおもちゃで遊んで夢のあるおもちゃを考えている。

11月8日(日)壬生町特別広報官として、壬生町職員に任命されました。

長女「壬生えみこ」（東武鉄道おもちゃのまち駅振興のため）
三女「壬生ゆうゆ」（おもちゃのまちPRのため）に続き、このたび次女の「壬生むつみ」が初めて壬生町の職員として採用されることとなりました。

三姉妹は、おもちゃ団地協同組合がおもちゃのまちの活性化を目的として生まれたキャラクターで、次女は今後町の特別広報官として、おもちゃのまちのPRをはじめ、町の広報紙やHPなど様々な分野で活動してもらいます。

11月8日(日)の壬生町合併60周年記念式典の中で「壬生むつみ」の辞令交付式が行われました。

問合せ先 町総務部総合政策課情報広報係 ☎81-1814

「おもちゃが好き、まちが好き。」

栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち。

この町に住んでいる、3人の姉妹はこの町が大好き。

大好きな町を、地域を、駅を、皆様と一緒に盛り上げていきます。



町の良いところ、
みなさんに
いーっぱいお伝えしますね。

壬生むつみ
Mutsumi Mibu

おもちゃのまちへ、
東武鉄道がご案内いたします。

壬生えみこ
Emiko Mibu

あそぼ。遊ぼう？
おもちゃのまちで、待ってるからね！

壬生ゆうゆ Yuuyu Mibu

©TOMYTEC／イラスト：みぶなつき
東武鉄道商品化許諾済

—高齢者が安心して暮らせる地域社会をめざして—

壬生町高齢者地域見守り ネットワーク事業

49自治会、184名のチーム員が活動中

壬生町では、平成24年度から穴美地区の3自治会をモデル地区として、高齢者見守りネットワーク事業を開始しました。25年度からは全自治会を対象に見守りネットワークの構築を呼びかけており、現在49自治会にご登録をいただいています。

社会福祉協議会が研修会を開催 —成年後見制度について—

10月6日、保健福祉センターにおいて、地域見守りチーム（自治会長、民生委員、チーム員）を対象に研修会が行われました。この研修会は社会福祉協議会主催で年に数回実施しているもので、今回は講師に一般社団法人社会福祉士事務所にじみる理事の高田美保氏をお招きし、「知っておきたい成年後見制度～成年後見の基本のキ」をテーマに講話をしていただきました。99名の参加者は、この機会に成年後見制度の基本を知り、今後の見守り活動に活かそうと熱心に聞き入っていました。



健康ふくしまつりでPR活動 —福和田自治会—

10月25日、保健福祉センター駐車場において、「第29回壬生町健康ふくしまつり」が開催され、見守りネットワーク事業の一環として、福和田自治会の地域見守りチームが地元産野菜の販売を行うとともに、事業PRのため広報品の配布を行いました。

福和田自治会は、現在3名のチーム員さんが高齢者の見守り活動を行っており、健康ふくしまつりへの参加は昨年に引き続き2回目です。

天気にも恵まれたこの日は、野菜の売れ行きも好調で、多くの方に見守りネットワーク事業を知っていただくよい機会となりました。

なお、売上げによる利益はすべてチームの活動資金となります。



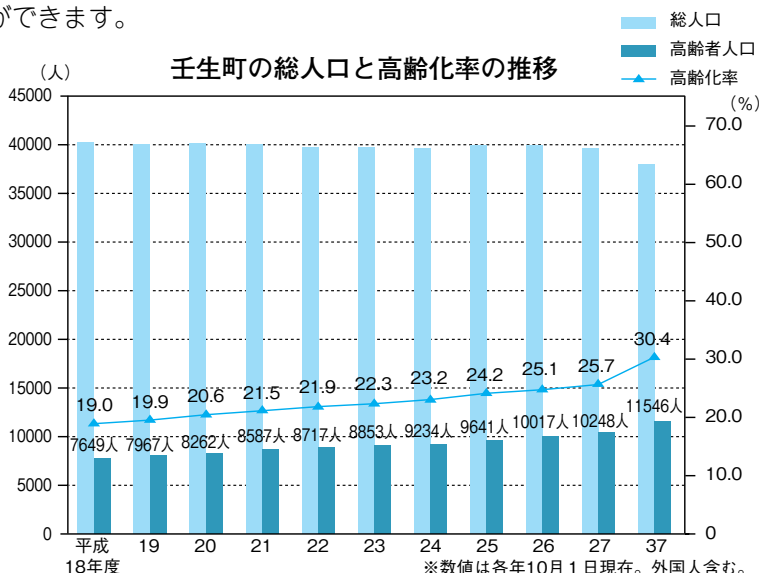
高齢者見守りネットワーク事業へのご登録をお願いいたします

壬生町では平成37年に高齢化率が約31%になると予想されており、今後、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯など、支援を必要とされる世帯は増え続けていきます。そんな中、地域で見守りネットワークが構築されることにより、「さりげない気づかい」や「ちょっとした目配り」が生まれ、高齢者の異変を早期に発見することで、問題が深刻になる前に解決することができます。

また、日常的に見守り活動を行っている地域ほど、災害時における住民同士の助け合いが円滑に進むといわれています。10月9日に発生した豪雨災害では、見守りネットワークを構築していた自治会から、避難が困難な一人暮らし高齢者への呼びかけ等、地域での助け合いを円滑に行うことができたとの報告をいただいています。

誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、登録いただいていない自治会においても、登録をご検討くださいますようお願いいたします。

また、高齢者見守りネットワーク事業をもっと詳しく知りたいという場合は、説明に伺いますので、下記までご連絡ください。



問合せ先

町民生部健康福祉課高齢福祉係 ☎81-1830

平成27年度栃木県更生保護事業関係者顕彰式

11月17日、宇都宮グランドホテルにおいて、栃木県更生保護事業関係者顕彰式が開催されました。栃木県下の更生保護事業関係者及び民間協力者の功績をたたえ、更生保護事業関係者士気の高揚と更生保護事業の一層の進展を期して、壬生町では9名の方々の功績が顕彰されました。代表して法務大臣表彰をお受けになった小倉武氏が町長室を訪れ、受章の報告をしました。

また、先に行われた「秋の叙勲」では、保護司として長年従事された功績により、荒川留行氏が瑞宝双光章を受賞されました。

・顕彰式の詳細はこちらになります。

法務大臣表彰 下野保護区保護司会
全国保護司連盟理事長表彰
関東地方保護司連盟会長表彰

栃木県知事感謝状
栃木県保護司会連合会会長表彰
栃木県知事感謝状 壬生町更生保護女性会
宇都宮保護観察所長感謝状

小倉 武
錦織 雅司
荒川 克己
森田 純市
黒川 幸子
大関 和夫
本多 成子
岩田 清子
益子サク子
(敬称略)



特別敬老金

柳原千代ノさん100歳おめでとうございます



柳原千代ノさんが100歳の誕生日を11月8日に迎えられたため、町長がご自宅を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

100歳を迎えられたとは思えないほどお元気で若々しく、家庭菜園やお菓子づくりなど多趣味で、生きがいを持って楽しく暮らしている様子でした。

また、お誕生日当日はご家族と旅行に行かれたそうで、温かい家族と過ごす時間を大切にされていることが長生きの秘訣だと感じました。これからもますます元気で長生きをしていただきたいと思います。

壬生町では、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えられた方に、特別敬老金を贈り長寿を祝っております。平成4年4月から実施している事業です。

「災害時相互応援協定」の締結式が行われました

11/27(金)に町内の各事業所と「災害時相互応援協定」の締結式を行いました。

災害が起こった際の避難所へ運ぶ物資の調達や、ライフラインの確保、住民の皆様への情報伝達手段の確保などについての協定です。

東日本大震災以降、災害時における各事業所との連携の必要性が指摘されています。

既に14事業所が壬生町と同様の内容の協定を締結しています。今回の協定の締結式は新たに8事業所との災害時における協力関係を築くものです。

以前より協定を締結している小売企業

- ・とちぎコープ生活協同組合
- ・イオン株式会社ジャスコ
- ・株式会社東武宇都宮百貨店
- ・株式会社福田屋百貨店
- ・株式会社 新優本店
- ・株式会社 ヤオハン
- ・株式会社 カワチ薬品
- ・株式会社 カスミ
- ・株式会社 ダイードロリンコサービス関東
- ・ファミリーランド21 壬生店
- ・ウエルシア関東株式会社
- ・株式会社伊藤園
- ・株式会社とちぎテレビ
- ・株式会社栃木放送

今回新たに協定を締結する事業所及び団体

- ・株式会社 LIXILビバ
- ・壬生アマチュア無線クラブ
- ・株式会社ヤマダ電機テックランド壬生店
- ・一般社団法人 栃木県LPガス協会
栃木支部壬生協会
- ・栃木県電気工事業工業組合
- ・壬生町医師会
- ・株式会社アクトリー
- ・東電タウンプランニング株式会社 栃木総支社



「大人のラジオ体操の旅」が始まりました！

町では町民の健康寿命を延ばすことを目的に、数々の事業を展開いたします。

その一つとして、健康ふくしまつりを皮切りに「ラジオ体操」が町のイベントと各地域のお達者サロン20か所をまわります。



11月2日 下表町お達者サロン



11月4日 緑町1・2丁目お達者サロン



11月7日 総合産業まつり

【今後の予定】

- ①お達者サロンを対象に「ラジオ体操第1・第2」「運動ミニ講話」、保健師による「脳卒中予防講話」を行い、介護予防を推進します。
- ②みぶの日フェア（H28.3.6）においてラジオ体操を実施し、身体を動かすことの楽しさとその効果を伝えていきます。

壬生ライオンズクラブ結成40周年記念

青少年健全育成第6回みぶバンドフェスタ2015を開催

11月1日(日)城址公園ホール(壬生中央公民館)大ホールにおいて、「壬生ライオンズクラブ結成40周年記念青少年健全育成第6回みぶバンドフェスタ2015」が壬生ライオンズクラブ主催、壬生町、町教育委員会共催で開催されました。

始めに青少年健全育成標語の表彰式が行われ、『「やっちゃんダメ」 言える勇気が 真の友』で最優秀賞を受賞した壬生中学校の栗田珠莉さんを始め、入賞者へ町長及びライオンズクラブから、賞状と記念品の授与が行われました。

演奏会では、ピアニストの安田結衣子先生、壬生高等学校吹奏楽部、南犬飼中学校吹奏楽部、壬生中学校吹奏楽部、みぶ吹奏楽団が演奏を行い、会場が大いに盛り上がりました。



町長より賞状と記念品を受け取る
壬生中学校2年 栗田珠莉さん

壬生ロータリークラブから

壬生ロータリー文庫を寄贈していただきました。

壬生ロータリークラブ(刀川清満会長)から同クラブ創立35周年記念事業として、壬生中学校、南犬飼中学校に偉人伝などを中心とした図書と本箱(合計50万円相当)が寄贈されました。田村教育長からは、「夢と志を持ちたくましく生きる人づくりに、読書は不可欠。中でも伝記を読むことは、志を立てるうえで、大変参考になる。是非たくさん子ども達にロータリー文庫を読んでほしい。」と感謝の言葉がありました。



黒川壬生ロータリークラブ創立35周年記念事業実行委員長から田村教育長に目録が手渡されました。

下水道普及啓発ポスター

2名が表彰されました。

10月15日「第21回巴波川流域下水道フェスティバル」において、下水道普及啓発ポスター入賞者の表彰式が行われました。

栃木市・壬生町の小学4年生の多数の応募作品の中から、栃木県都市整備課長賞に壬生小学校4年 古郡圭将さんが選ばれ、表彰されました。また、優良賞に選ばれた方の中から代表として、陸小学校4年 網野里咲さんが表彰されました。



都市整備課長賞を受賞した作品



古郡圭将さん



網野里咲さん



山本 忠男 氏（町自治会連合会会長）が『全国自治会連合会会長表彰』を受賞

町自治会連合会会長の山本忠男氏（駅東自治会長）が、10月27日に開催されました「全国自治会連合会 石川県金沢大会」において、自治会長としての長年にわたる活躍、行政とのパイプ役として地域力の向上に努められた功績が認められ、“平成27年度全国自治会連合会会長表彰”を受賞されました。

当日は、併せて全国自治会連合会30周年の記念式典も行われ、今後のまちづくりにおける自治会活動の必要性・重要性についての講演会も開催されました。



下馬木自治会「ふれあい祭り」を盛大に開催！

下馬木自治会（会長：葭葉利男）では、11月15日（日）に、町の「いきいきふれあい応援事業」の支援を受けて、「ふれあい祭り」を下馬木公民館前広場で盛大に開催しました。

当日は、伝統をしっかりと受け継いだ若い担い手たちが奏でるお囃子の笛や太鼓の音色をバックに、老若男女を問わず、無料で振る舞われた焼きそばや芋煮を囲んで笑い声にあふれた楽しいひとときを過ごすとともに、子どもたちは、育成会で準備したピンゴゲームでおもちゃをゲットするたびに、大きな歓声を上げ楽しんでいました。

希薄になりつつある人と人とのコミュニケーションづくりの場として、小雨にも関わらず、多くの会員の方に参加していただき、楽しく充実した一日を過ごすことができました。

“ファミリーウォークラリー”を開催

至宝町南自治会（会長：鈴木武夫）では、10月17日（土）に、毎年恒例の「ファミリーウォークラリー」を、町の「いきいきふれあい応援事業」を活用して開催しました。

今回は、新設された壬生消防署を訪れ、日々、地域の安全を守っていただいている消防士の皆様のご協力を得て、署内の見学や放水体験を実施した後、実際の火事を想定した訓練をしていただき、子どもからお年寄りまで、参加者一同貴重な体験をすることができました。

その後は、わんぱく公園での昼食、そしてゲームなどをして充実した一日を楽しく過ごしました。





まちのわだい

壬生町3歳児よい歯のコンクール表彰受賞

10月25日、壬生町保健福祉センターにおいて「第29回壬生町健康ふくしまつり」が開催されました。

その席上において、5月15日に行われた「平成27年度壬生町3歳児よい歯のコンクール」で優秀な成績を修めた次の7組の方が表彰を受けました。

3歳児よい歯の部

最優秀賞	角家 香麟ちゃん
優秀賞	越路 良一くん
優良賞	臼井 柚ちゃん
優良賞	鈴木 優衣ちゃん
優良賞	戸崎 優哉くん

親と子の部

最優秀賞	湯澤 志帆美さん・頼汰朗くん
優秀賞	関口 真弓さん・心暖ちゃん



「親子きのこ教室」を開催しました。



11月8日(日)稲葉地区公民館において、(株)北研との共催で、小学生の親子を対象に食育推進事業として「親子きのこ教室」を開催しました。

教室では、栽培の歴史、きのこの栄養素の働き、菌を食べる必要性などをクイズ形式で学び、しいたけ収穫体験や胞子紋の観察をしました。その後、参加者全員できのこ汁を作り、美味しく頂きました。

参加した児童からは、「頂いた菌床を大切に育てます」「苦手だったきのこが食べられた!」などの感想もあり、元気いっぱいのきのこ教室でした。

第7回イングリッシュ・ハロウィン・プログラム “まる1日英語で過ごそう!”

11月14日、城址公園ホール(壬生中央公民館)で町内在住の小学校4年生から6年生の18名の児童が町の外国語指導助手(ALT)と英語漬けの1日を過ごしました。

このプログラムは、町教育委員会の事業で、3人のALTが講師となり、バック作成やゲーム等の活動を通して子ども達に英語で過ごす体験をしてもらおうと実施しました。

当日は、コスチュームランウェイ、キャンディーバック作成や、ゲーム等の活動を通して英語で過ごす体験をもらい、最後にハロウィンの合言葉「トリック オア トリート」の言葉を使い、子ども達が作ったキャンディーバックに、ALTからお菓子を入れてもらいました。





「人権の花」運動 花の贈呈式

10月26日、壬生北小学校において宇都宮地方法務局栃木支局、栃木人権擁護委員協議会、町による「人権の花」運動の花の贈呈式が行われました。当日は、町人権擁護委員協議会（鯉沼玲子会長）から児童たちにパンジーの苗が手渡されました。

この運動は、児童が相互に協力しながら花を育てることで、やさしさや相手に対する思いやりの心を育み、人権への理解を深めてもらおうと実施しているものです。



北方領土返還要求促進の署名運動を実施



壬生町自衛隊父兄会（関本和夫会長）では、健康ふくしまつり並びに町産業祭の会場において署名活動を実施しました。北方領土は歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方四島で、祖国復帰が未だに実現されていないことから、署名を通じて国民一人ひとりの意思を北方領土返還実現に反映させようと、毎年父兄会の会員により活動しており、多くの方々から署名を頂きました。

内閣総理大臣表彰を大場伸一氏、総務大臣感謝状を人見武氏、森田一生氏が受賞

11月3日、国民参政125周年・普選90周年・婦人参政70周年を記念し、卓越した識見によって委員会を円滑に運営、また選挙啓発の活動に尽力したその功績が特に顕著であり高く評価されたということで、大場伸一元選挙管理委員会委員長が内閣総理大臣表彰、人見武元選挙管理委員会委員及び森田一生元選挙管理委員会委員が総務大臣感謝状を受賞されました。



地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター

鈴木自動車販売株式会社

壬生町安塚1170-6

TEL: (86)0798

FAX: (86)0903

新車・中古車販売 くるま市店

スズキ販売壬生

壬生町安塚793-18

TEL: (86)3188

FAX: (86)3172

オートサービス安塚給油所

スタンドスズキ

壬生町安塚874-3

TEL: (86)0386

FAX: (86)0368

サイクル&モーターショップ

鈴木輪業

壬生町安塚1935

TEL: (86)0012

FAX: (86)1356

フリーダイヤル 0120-12-0798

まちのわだい



第12回みぶっ子ドッジボール大会

10月24日(土)に第12回みぶっ子ドッジボール大会(主催: 壬生町子ども会育成会連絡協議会・壬生町教育委員会)が、町総合運動場体育館で開催されました。この大会は子どもたちの心身を鍛えるとともに、単位子ども会育成会間の交流・活性化を図る事を目的として毎年開催しております。今年アンダースリーの部(小学校1～3年生)8チーム79名、オーバースリーの部(小学校4～6年生)7チーム83名、合計15チーム162名が参加し、熱戦が繰り広げられました。



アンダースリーの部 優勝 ブルードラゴン

試合結果

○アンダースリーの部

優勝	ブルードラゴン	(北小林)	壬生北小学校
準優勝	上田ファイヤーズ	(上田)	壬生北小学校
第3位	ニャンピース	(中泉・助谷)	壬生北小学校

○オーバースリーの部

優勝	レッドタイガー	(北小林)	壬生北小学校
準優勝	ドラゴンパワーチーム	(中泉)	壬生北小学校
第3位	上田オーシャンズ	(上田)	壬生北小学校



オーバースリーの部 優勝 レッドタイガー

32th MIBUバドミントン大会

〔11月15日(日) 町総合運動場体育館〕

成績

○男子A

優勝	織田・古場 組
準優勝	宮内・平石 組
第3位	上野・柳澤 組

○男子B

優勝	盛・瀬賀 組
準優勝	賀長・村上 組
第3位	星野・阿久津組

○女子A

優勝	若林・吉田 組
準優勝	大山・関谷 組
第3位	坂田・和久井組

○女子B

優勝	大橋・柏崎 組
準優勝	村上・松本 組
第3位	新城・井沢 組



優勝者のみなさん 後列 左より 盛・瀬賀・古場・織田
前列 左より 吉田・若林・大橋・柏崎

栃木県民スポーツ大会で好成績！

10月18・25日に県内各地で県民スポーツ大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。壬生町は14種目に173名が出場し、ソフトテニスで優勝の栄冠を手に入れました！また、バスケットボール(男子)、ゲートボールが準優勝、グラウンドゴルフ、バレーボール(男子)・テニス・バドミントンが第3位に入賞しました！



みぶブランド認定第1号

「みぶこよみ 2016年版」

発売中！

定価1,296円(税込)

離れて暮らすご家族への贈り物に
同窓会のお返しに、
営業のお供に

メディアウ出版販売有限公司

壬生町中央町16-31 壬生交番前
TEL 0282-82-6773 担当:山縣



《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町水道施設維持管理業務
- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

㊤セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社: 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比寿OTビル6階
栃木営業所: 〒323-0807 栃木県小山市城東1-132-102

みんなの 広場



おかむら ゆめ か
岡村夢花ちゃん
(H23.11.25生) (栄町)



かん た
寛大くん
(H26.12.29生)

ふくだ はると
福田陽友くん (H26.12.26生)
(東下台)

地域のみなさまに支えられて11年！

11名のボランティアが110名の中学生の学びを支援

～放課後学習サポート事業 11月からスタート～

放課後学習サポート事業（壬生町教育委員会主催）は、毎年11月から壬生中、南犬飼中の3年生を対象として行っており、放課後の空き教室を利用して進路や夢の実現に向けて学習に励む中学生を、地域住民が無償の学習支援ボランティアとなり、自らの経験やスキルを生かしながら支援するものです。

本事業は、みなさまに支えられて、今年で11年目となりました。今年度も11名の学習支援ボランティアが、両校あわせて110名を超える生徒たちの学びのためにご協力くださっています。放課後の教室では、積極的に学習支援ボランティアに質問する生徒の姿と、それに対して優しく誠実に答える学習支援ボランティアの姿が見られています。また、お互いに笑顔があふれ、あたたかな交流を深めています。

次代の壬生町の担い手である中学生が、地域のみなさまからあたたかな支援を受けながら学び育っていただけるよう、今後も本事業へのご支援をよろしくお願いいたします。



【壬生中学校の様子】

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第68回

今月の「壬生論語古義抄」(21)

新しい論語素読テキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

【六三】

子貢問う、師と商と孰れか賢れる。

子曰く、師や過ぎたり、商や及ばず。

曰く、然らば則ち師は愈れるか。

子曰く、過ぎたるは猶お及ばざるがごとし。

(先進第十二)

「師（子張）と商（子夏）とでは、どちらがまさっていますか。」

「師はやり過ぎで、商は及ばない。」

「それでは、師のほうがまさっているのですか。」

「やり過ぎは、及ばないのと同じだね。」

【みづまるから一言】

良いといわれることでも、やり過ぎは害になるということだね。

そういえば、最近は携帯電話やスマートフォンなど、便利な道具がたくさんあるね。携帯電話やスマートフォンは、とても便利で素晴らしい道具だけど、小中学生の場合、どうしてもやり過ぎて、結果的には学力低下やネット依存症、ネットいじめやネットトラブルなどの問題が多いんだよ。小中学生は持たない方が良さかもしれないけど、家の都合でどうしても持たなければならぬ時は、やり過ぎないよう家族や先生との約束をしっかり守らないといけないね。



毎週土曜日から9時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室《壬生論語古義塾》を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ200円の資料代がかかります。



にしむら みゆ
西村美柚ちゃん
(H26.12.22生)
(おもちゃのまち)



ふのかわ ゆめ
布川優姫ちゃん
(H23.12.12生) (落合)
れお
怜央くん
(H27.6.26生)



うすい そうた
薄井颯大くん
(H26.12.15生)
たいせい
大惺くん
(H23.10.18生)
(六美町中央)

今回は2月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締切】1月22日(金)

【必要事項】氏名(ふりがな)(複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください)、保護者名、生年月日、住所、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで

【申込先】町総務部総合政策課 情報広報係
〒321-0292 壬生町通町12-22
Eメールアドレス sougo@town.mibu.tochigi.jp

わが家の アイドル



たかぎ しょう
高木 聖くん
(H26.12.25生)
(城内)

歴史民俗資料館だより

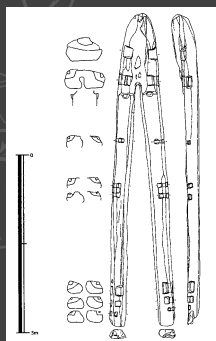
地域に眠る文化財シリーズ
壬生古墳群の謎1

『車塚古墳』『吾妻古墳』の石材運搬

―巨大石室の石材運搬は陸路それとも筏―

近年まで栃木県内の資料館などの解説パネルには、大型古墳の石室石材を川の上に浮かべた筏を利用して、運搬しているイラストが使われていました。私も大型古墳の近くには川が流れ、川の上流部に石材の産地が集中しているため何の疑いもなく、信じていました。確かに、吾妻古墳の凝灰岩製の玄門石や車塚古墳の石室石材は、黒川上流部の深岩地区が産地とされ、川を利用して運搬することが一番効率的な方法と考えていました。しかし、県内の研究者により凝灰岩の特徴として水を含むとその重量が約2倍になるのに、筏上に載せて水の上を運搬することが本当に可能なのか、という疑問が指摘されました。

また、大阪府にある古墳の濠の中から、古墳時代の石材を運搬する「修羅」という運搬用のそりが出土しています。その後、14tの石を実際に「修羅」で運ぶ実験が行なわれ、「修羅」を地面にそのまま置いて引く場合は2000から3000人の引き手がいても動かなかったそうですが、「修羅」を木材のレールの上にコロを並べた状態で引いた場合は、約400



修羅実測図



吾妻古墳玄門

問合せ先

歴史民俗資料館

☎0282-82-8544

コミュニティチャンネル

地上デジタル 111ch

リモコンボタンは 11

お正月特番「ケーブルテレビからおめでとう2016」

放送日時: 1月1日(金)~1月3日(日) 6時/12時/18時30分 他

内容: ケーブルテレビからのお年玉プレゼント企画番組

詳しくはケーブルテレビのホームページまたはテレビの電子番組表をご覧ください。

栃木ケーブルテレビ

みなさんの地域の身近な話題をお寄せください!

【CC9ステーション】今後の取材・放送予定

内容	開催日	放送日
新春書初め席書大会	1月 9日(土)	1月11日(月)
壬生町成人式	1月10日(日)	1月12日(火)

月曜~金曜 夕方6時更新。取材・放送の予定は予告なく変更の場合があります。予めご了承ください。

☎0120-25-1819 先着 ☓ tayori@cc9.ne.jp

スマホ用アプリで「広報みぶ」が読めるようになりました!

壬生町では、この度「i 広報紙」による「広報みぶ」月1回および「広報みぶおしらせ版」月2回の配信を開始致しました。

今まであまり広報紙を読まれていなかった世代の方や、お仕事や、子育て中で忙しい方、いつでもどこでも、アプリで楽しく広報紙を読むことができます。

「i 広報紙」は、専用のアプリをダウンロードして、簡単な個人設定をするだけで、すぐに広報紙を読むことができます。ぜひご利用ください。

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。

※広告が表示されますが、壬生町とは何ら関係ありません。

i 広報紙の利用については
株式会社ホープのHP
<http://ikouhoushi.jp/> をご確認ください。

◎問合せ先

町総務部総合政策課情報広報係
☎81-1814



便利な機能がたくさん!
下記のQRコードから
ご確認ください。↓

iPhone・iPadの方ははこちらから



Androidの方ははこちらから



絵画「うまにえさをあげたよ」



羽生田小1年
おの ゆき ね 小野 雪峰

私の作品



羽生田小2年
おち あい あき ひろ 落合 瑛大



絵画「牛」

↓町公式WEBはこっちだよ!



©TOMYTEC
イラスト：みぶなつき



寄 附

下記の方より、まちづくりの推進に役だてて欲しいと寄附がありました。

壬生町 協栄産業株式会社様……50万円



表紙の写真

12月6日に行われた第4回ゆうがおマラソン、3km女子中学生の部のゴール直前の様子です。たくさんの観客の声援を受けながら、高橋尚子さんと一緒に思い出に残るゴールを切りました。



● 町民税
● 国民健康保険税
● 介護保険料
● 後期高齢者医療保険料
納期限 2月1日
(7期) (7期) (4期)

1月の納税等

【まちのうごき】●総人口 39,867人(21) 男19,780人(10) 女20,087人(11) ●総世帯 15,424(14) ()内は前月比 平成27年11月末現在